

聖餐礼拝説教要旨 【2018年8月5日】

「父よ、彼らをおゆるしてください」

ルカによる福音書 23章 32節～38節

説 教 本庄侑子牧師

「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。」(34節)約2000年前、十字架上で主イエス・キリストが祈った祈りです。

昨日から夏期聖書学校が行われています。今年はイエス様のご生涯がテーマです。イエス様のお話を聴き続ける中で、皆の心に全く新しい愛が育っていくのがわかります。世界全体がこんなふうになればいいのにと、思って何度も涙をこらえました。

日本基督教団の暦では今日は「平和聖日」です。8月には「広島原爆の日」(6日)、「長崎原爆の日」(9日)、「終戦記念日」(15日)があり、これらのことが起こってから今年で73年になります。これらの日は、孫世代の私の記憶にもはっきり刻まれています。

あれから73年。しかし、私たちの誰も争いを好みはしないのに、いつもどこかで争いが起こっています。国と国の戦いだけでなく、私たちの1週間をふり返っても、身近な人との間で争いがあつたのではないのでしょうか。「この人さえいなければもっと楽しく生きられる」と思ってしまうようなこと、自分が絶対に正しいと思ってしまうようなことがあります。聖書ではこのような心の傾きを罪と呼びます。

罪という言葉はまだ知らなくても、私は幼い時から罪に苦しんできました。16歳の時に初めて教会に行った時、自分を悩ませてきたのは罪であると知ってホッとしました。この罪の問題が解決しないかぎり、声高に理想やスローガンを掲げても意味はありません。罪の問題を解決して下さる方が神です。神は私たちを創り、祝福を与えて下さり、人生を歩む計画を立てて下さいました。それだけでなく、私たちと同じ人間になり、私たちの罪を背負って十字架上で死んで下さり、復活なされたのです。

「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」十字架の周りにいた「彼ら」の中に私たちもいます。人々の注目が自分から誰かに移る時、嫉み、殺意を抱いた人。何かがおかしいと思いつつも、何もしないで見ていた人。無抵抗のイエス様をストレス発散の矛先にした人。ほんの5日前まで熱狂的に歓喜の声をあげていたのに、期待外れだったことを知ってイエス様を罵り、離れた人。

イエス様が十字架につけられるまでに、たくさん人の罪がからみあいました。十字架につけられた時、イエス様は「私は悪くない。何もしていない。」と叫んでも当然でした。神だからいくらでも十字架から降りることもできました。それでも十字架から降りず、嘲りを受けながら、「彼ら」をかばう祈りを祈って死なれたのです。

私たちではどうしようもできない罪、憎しみの連鎖を断つために。

この祈りを通して、イエス様の愛と赦しにふれて、まったく新しい生き方をするようになった2人の方をご紹介します。

ひとりは淵田美津雄(ふちだみつお)という元日本兵です。淵田さんは真珠湾攻撃の総指揮をとった方で、敗戦後もアメリカへの憎しみに生きていました。ところが、アメリカで捕虜になっていた人から思いがけない話を聞きます。捕虜キャンプに、日本人捕虜のために献身的に尽くすアメリカ人女性がいたというのです。

20歳位の女性で、敵であるはずの日本人のために尽くし続けてくれたそうです。なぜそこまでしてくれるのかと問うと、「私の両親が日本軍に殺されたからです」という答えが返ってきました。すぐには意味が呑み込めません。彼女の両親は宣教師で、フィリピンにいたとき、山に隠れていたところを日本軍に見つかりスパイの疑いをかけられます。両親は否定しましたが、日本軍は両親を処刑することにしました。両親は、30分時間がほしいと言ひ、その間に聖書を読み、神に祈りました。まさにそのときの祈りが「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」だったのです。

もうひとりは元アメリカ兵ジェイコブ・ディシェイザーです。彼は日本軍の捕虜となり、獄中で酷い仕打ちを受けながら、「同じ人間なのに、なぜこんなに憎みあわなければならないのか」と自問します。そして、両親がキリスト者だったことから聖書を思い出し、読み始め、あの祈りに行き当たります。先の淵田さんも、ディシェイザーの手記を読んで聖書を読もうと思われ、同じ祈りに心捉えられました。

その後、淵田さんは現在の日本基督教団堺教会で洗礼を受けました。淵田さんも、ディシェイザーも、その後の半生を伝道にささげました。

イエス様は、今まさに自分を槍で突き刺そうとする人のために祈りました。キリスト者は、このキリストの愛と赦しに捉えられたのです。世界の心の動きを愛と赦しへと向けていくような存在--そういう人々を神様は選び求めておられます。この特別な朝に私たちは神様に選ばれ、呼び出されました。世界を静かに変えていくイエス・キリストの福音を、イエス・キリストの祈りを、共に耳にしたのです

(記 説教要約奉仕者)